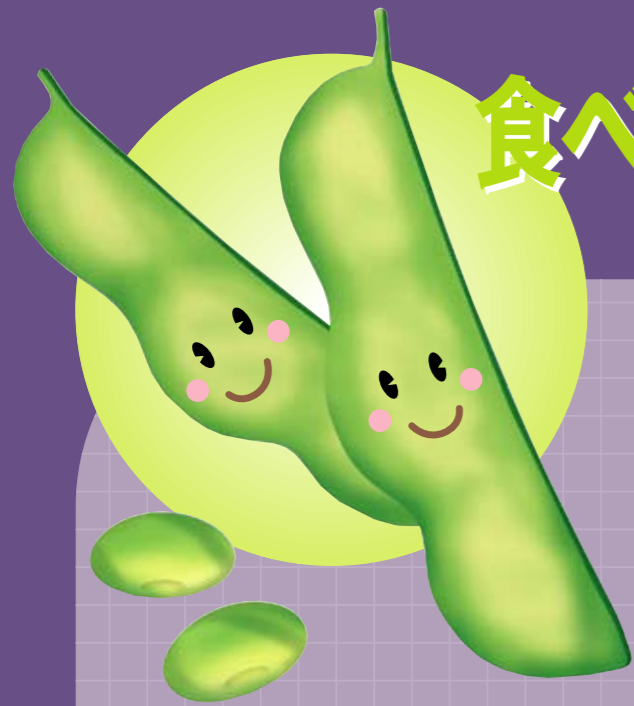


# 食べたるとまらないおいしいエダマメをつくりましょう!



つくった人だけがわかる喜びがある!

## ここがポイント!

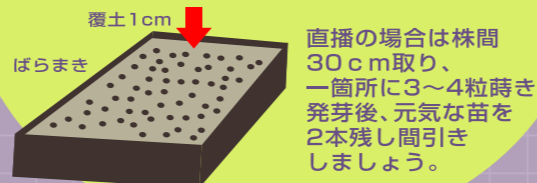
- ◎酸性土壌に弱いので石灰類の使用で土づくりを
- ◎チッソ分の控えめな肥料を与える
- ◎連作障害を起こしやすいので3~4年マメ類を育てていない場所を選ぶ



1.5kgで通常の堆肥の15kg分の効果がある「固形濃縮堆肥」がおすすめ。

## 1. 種まき。

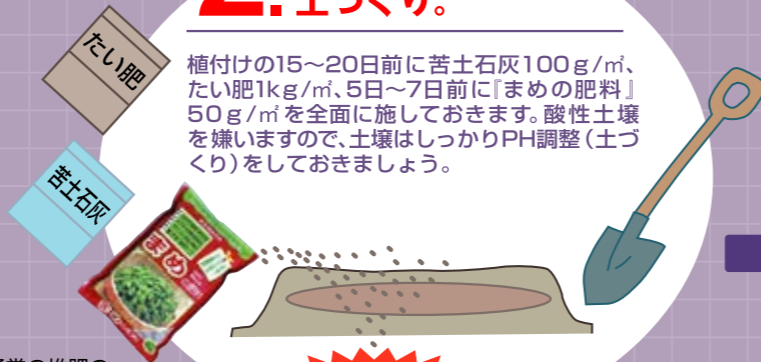
温床か育苗箱にばらまきし、1cm位の覆土をします。発芽まで、鳥の食害に合わないよう穴をあけたビニールなどで覆っておきましょう。4日くらいで発芽します。本葉1~2枚になったら定植します。



直播の場合は株間30cm取り、一箇所に3~4粒蒔き発芽後、元気な苗を2本残し間引きしましょう。

## 2. 土づくり。

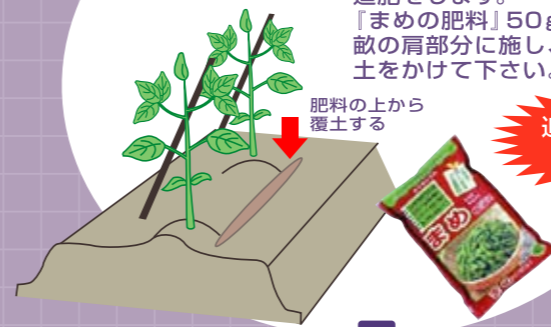
植付けの15~20日前に苦土石灰100g/m<sup>2</sup>、たい肥1kg/m<sup>2</sup>、5日~7日前に「まめの肥料」50g/m<sup>2</sup>を全面に施しておきます。酸性土壌を嫌いますので、土壌はしっかりPH調整(土づくり)をしておきましょう。



元肥1mあたり約50g

## 5. 追肥。

花が咲き始めたら追肥をします。「まめの肥料」50g/m<sup>2</sup>畝の肩部分に施し、土をかけて下さい。



追肥1mあたり約50g

## 6. 収穫。

開花後40~45日後が収穫の適期です。サヤを押し出そうになる位の時に収穫しましょう。適期は1週間ほどしかありません。美味しい時期を逃さずに収穫しましょう。



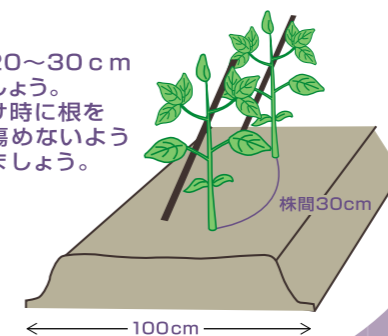
## 4. 土寄せ・かん水。

路地栽培の場合、定植後5日目位に土寄せをしましょう。花が咲き始めたら、10日間はお水を多めに与えます。



## 3. 植付け。

株間は20~30cm取りましょう。植え付け時に根を切って傷めないよう注意しましょう。



朝日工業株式会社  
http://www.asahi-kg.co.jp